

思わず読みたくなるタイトルを文書に付与するシステムの開発

Development of the system which gives a title to come to read involuntarily to a document

土井 祥吾
Shogo Doi

1 研究概要

1. 作りたいもの

思わず読みたくなるタイトルを文書に付与するシステム

2. 誰が使うか

ブログをしている人である。また、SNS (facebook, Twitter など) による情報配信者 (Webライター) である。情報配信者は広告料を主として利益を得ている。しかし、記事を読覧されない限り、配信者としての収入はゼロとなる。読者が読みたくなるような記事を書いているのに、タイトルに魅力を感じないせいで読んでもらえない配信者が多く存在すると思う。

3. どこで使うか

主に自宅で利用できるようにする。記事を書ける環境であれば使えるようにする。

4. いつ使うか

情報配信者が記事を作成したときに利用する。

5. どのように使うか

情報配信者とは記事を書くプロではなく、老若男女、だれもができる一つの職であると考え。ゆえに、誰が、どこで、いつ使うか特定できないので、誰もが、どこでも、いつでも使えることを前提とする。一度記事を作成し、その記事の内容を解析し、文書にふさわしいタイトルを付与する。文書を解析しタイトルを付与するときに、必ずしも解析結果で生成されたタイトルが、思わず読みたくなるタイトルかどうか分からないので、2, 3 個候補となるタイトルを生成する。

閲覧者によって、そのタイトルが思わず読みたくなるタイトルなのかが違って来る。例えばお年寄りの場合、わかりやすいタイトルを付与したほうが閲覧されやすいと考え、若者の場合は、ネット用語を用いたタイトルなどのほうが閲覧されやすいと考える。こういった場合も考慮し、候補としていくつかの形のタイトルを生成する。

6. 何を材料として作るか

電子掲示板 (スレッド) のコメント数
新聞の見出しタイトル
ブログのタイトルと閲覧数と購読者数

情報検索サイトのトップニュースタイトル

2 イメージ図

1. 記事の作成

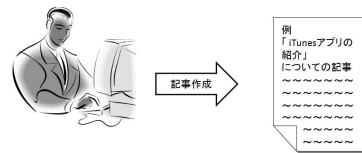


Fig.1 イメージ図

2. システム

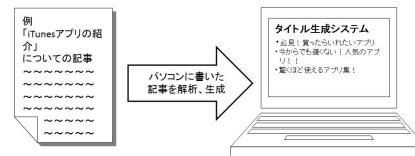


Fig.2 イメージ図

3 次の発表までにすること

1. 材料とする記事のタイトルを抜き出して、思わず読みたくなるもの、そうでないものに分けて、特徴を調べる。
2. 人の心理と記事のタイトルとの関係性を調べる。

参考文献

LI(Ginc) <http://liginc.co.jp/library/124233>